

第7章 生活する／病気・けが

(1) この章の到達目標

- 1 病気になったとき、安心して病院に行くことができるよう、日本における一般的な受診の流れ等を理解する。
- 2 病気になったとき、医療機関を探したり、診察を受けるときに利用できる、多言語のサポートツールがあることを知る。
- 3 急病や火事などの緊急時は119番に連絡することや、連絡した際に伝える事項などを理解する。

(2) 指導する上での心構え

- 日本で暮らす外国人は、異国に暮らしていることで**不安**をたくさん抱えています。
- 日本語でのやり取りに不安があり、**医療機関を利用できない**人や、「**保険証**」の意義や使い方を知らない人もいます。
- この章では、日本語に自信がない場合でも、適切なサポートツールを使用することで、**安心して治療を受けることができる**ことを知ってもらい、必要な時に**自分で病院に行くことができる**ようにします。
- 外国人患者を対象にした様々な**多言語のツール**がありますが、それらについての情報を日本人側も知っておくことで、いざというときに慌てずに対応できるよう、準備しておくことが大切です。
- また、「健康保険証」を含む、**身分を証明する物の貸し借りは、犯罪になる**ということも、この章でも再確認しておきましょう。

コラム 宗教上の配慮

外国人の中には、宗教を大切にしている人も多くいます。たとえば、イスラム教では、女性が夫以外の男性に肌をさわらせるのは宗教上許されないことです。そのため、女性患者の場合は女性医師を強く希望することになります。ただし、生命の危険があるときや意識不明の場合は、許されているそうです。

外国人の中には、こうした宗教上の不安から、病院に行くことをためらっている人もいます。そのような場合でも、多言語ツールや医療通訳などを活用すれば、宗教上の配慮が必要なことなどを医者に伝えることができます。従業員が必要な時に必要な医療サービスを受けられるよう、受入れ側も、いざというときに使えるサポートツールを知っておくと安心です。

第7章 生活する／病気・けが

体の調子が悪くなったときは、まず近くの診療所(クリニック)に行きましょう。日本には、症状に合ったクリニックがあります。クリニックに行くときは、保険証を持って行きます。

7-1 病院の選びかた

- 軽い病気の場合は、まず診療所(クリニック)に行きます。
- 入院や手術が必要になれば、大きい病院に行きます。

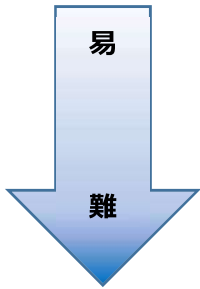
【クリニック】 → 入院や手術が必要になったら → 【大きい病院】

7-2 健康保険証

- 病院に行く時は、保険証(病院で使うカード)を見せてください。保険証がない人は、お金を全部自分で払います。

7-3 受診の流れ

受付にいきます → 問診票を書きます → 待ちます → 診察を受けます → 待ちます → お金を払います → 薬を買います



この章のおすすめワーク	
①	動画を見て 119 番通報の流れについて確認する。
②	「あいち医療情報ネット」を活用し、自宅周辺のクリニックを調べる。
③	「あいち医療情報ネット」から外国の言葉への対応可能な医療機関を調べる。
④	問診票を一緒に記入する。(→「多言語医療問診票」を活用しましょう。)
⑤	問診票を見ながら、一緒に診察の流れをロールプレイする。

(3) 外国人がつまずきやすいポイント

つまずき事例

自分の国で病院にかかるのは高額な費用が必要なため、日本の病院も当然高いと思い込み、体調が悪かったが病院に行かなかったところ、症状が悪化してしまった。保険証を所持していたが、使い方もその意味も知らなかった。

解決のヒント！

日本人にとっては、保険証を持っていれば自由に医療機関を選び、受診することは当たり前ですが、国によっては制度が全く異なる場合もあります。体調が悪化する前に、早めに適切な医療サービスを受ける事ができるよう、情報提供することが大切です。

7-4 健康に暮らすために

■ 日本には四季（春・夏・秋・冬）があり、気温・湿度が変わります。それぞれの季節について知り、元気に暮らせるようにしてください。

1. 季節に合った服装 日本は季節によって着る服がちがいます。天気予報などで、天気や気温を確認して、その日に合った服を着てください。寒いときは、シャツではなく、靴下や靴をはいたり、暖かい下着を着ましょう。重ね着ができるようになると良いでしょう。	
2. 感染症 日本の冬は寒く、空気が乾きます。うがいをし、手を洗ってください。元気がないときは、病気になるやすいです。寝たら休んでください。薬はドラッグストアで買うことができます。完気な時に自分に合った薬を、探しておくことが大切です。	
3. 乾燥と肌あれ 冬になって空気が乾くと、肌が乾いてかゆくなる場合があります。ドラッグストアで自分に合った「かゆみをとめる薬」を買っておくと良いでしょう。	
4. 雪 冬の間に、雪が降ることがあります。雪の日は、道がすべりやすく、危ないです。外出するときは、靴はぬいように注意しましょう。自転車には乗らないほうが良いでしょう。	

結核に注意しましょう！

外国人の結核患者が増えています。結核は人に移ります。日本に来る前に検査をすることが大切ですが、おかしいと思ったら、すぐにお医者さんに検査をしてください。

日本に住み、社会や文化、言葉など環境が変わったことで、体や心がうまく対応できなくなることがあります。一人で悩まないで、次に相談してください。



ひとことアドバイス

7-5 119番の仕方

■ いつ?どのようなとき?

- 火事が起きたとき
- 突然の激痛、高熱、吐き気などがあつたときで自分で動くことができないとき

■ 119番に電話した後、どうする?

- 「火事」「救急」が伝えます。
- 「場所」「何があつたのか」「倒れた人の年齢」を伝えます。
- 電話をしている人の名前と電話番号を伝えます。

日本では救急車を呼ぶことは無料です!

7-6 外国のこばへの対応

○ 病院を 探すとき

「あいち医療情報ネット」
 外国のこばで 対応できる病院を 探せます。
<http://iryojoho.pref.aichi.jp/>

「あいち救急医療ガイド」
 外国のこばで 対応できる救急病院を 探せます。
<http://www.qq.pref.aichi.jp/>

○ 自分の言葉で 病気のこばを 伝えたいとき

「多言語医療問診票」
 あなたのこばで 病気のこばを 知らせることができる問診票があります。
<http://www.kijp.org/medical/>

「あいち医療通訳システム」
 病院からのお願ひにこたえて、診療の通訳サポートをします。
 このサービスを使うことができる病院は かげられています。ウェブページや電話で確認してください。
<http://www.aichi-iryoyu-tsuyaku-system.com/>

<ついでに>にほんご

おなかが 痛いです / 熱が あります / けがを しました / やけどを しました

だい しょう せいかつ びょうき わーくしーと
第7章 「生活する／病気・けが」 ワークシート

くに
 国：

なまえ
 名前：

ひ がつ にち ようび
 日にち： 月 日 () 曜日

<p>1 びょういん い なに も い 病院に行くとき、何を持って行き ますか。○をつけてください。</p>	<p>ば す ぽー と パスポート () ま い な ん ばー かー ど マイナンバーカード () けんこう ほけんしょう 健康保険証 ()</p>
<p>2 いえ ちか あなたの家の近くにある、 くり に っ く かる びょうき と き い クリニック（軽い病気の時に行く びょういん なまえ か 病院）の名前を書いてください。</p>	
<p>3 いま にほん ふゆ 今は日本の冬です。 みぎ え ふくそう なお 右の絵の服装で、直したほうが いいところはどこですか。 かこ ○で囲んでください。</p>	
<p>4 にほん きゅうきゆうしゃ よ かね 日本で救急車を呼ぶとき、お金を はら 払わなければなりませんか。 ただ 正しいものに○をつけてくださ い。</p>	<p>かね はら お金を払わなければなりません。 () かね はら お金を払わなくてもいいです。 () す ばしょ ちが 住んでいる場所によって、違います。 ()</p>
<p>5 いん たーねっと たげんご いるようもんしんひょう しら じぶん くに ことば もんしんひょう インターネットで「多言語医療問診票」を調べて、自分の国の言葉の問診票 さが を探してください。</p>	